



校長室だより

第 2 4 号
(通算第 7 7 号)
令和4年9月13日(火)
大崎市立沼部小学校
校長 吉田 浩之

交通安全教室

春と、今月9日に予定していた交通安全教室を延期しており、12日(月)によりやく開催することができました。2校時に低学年、3校時に中学年、4校時に高学年が実施しました。

低学年は学校と公民館の間の公道を使って、実際に横断歩道を渡る練習を行いました。学校と公民館、すまいる園が交差する道路は、後方、左方、前方を確認しなければなりません。2年生がリーダーになって、1年生に手本を見せながら、横断歩道を渡っていました。この時期、低学年の飛び出しによる交通事故が多いそうです。車が確実に止まってくれたことを確認してから横断するようにしたいものです。御家庭でも、「車が止まってから渡るんだよ。」などとお声掛け頂けるとありがたいです。止まってくれた車に対しありがたいの意味を含めて、渡り終えたら会釈すると、運転している方も気持ちよくなると思います。



中・高学年は自転車を使用し、校庭の模擬道路で、自転車運転の技術向上を目指しました。先生方が考えたコースは悪路あり、スラーロームあり、横断歩道、一本橋ありと趣向が凝らされていました。子供たちは、しっかりヘルメットをかぶり、バラエティ豊かなコースに果敢に挑戦していました。自転車を持ってこられなかった子供は、「自転車に乗ったつもり」で学習に取り組んでいました。

子供たちの写真を撮りながら、「後方確認！乗車！後方確認！発車！」と声掛けしました。自転車に乗る際に、後方を確認し、後ろから車が来ないことを確かめてから、発進することを意識させたいという思いからでした。保護者の皆さまも、「その自転車止まっているのかな？動き出そうとしているのかな？」と思いながら運転することもあると思います。

急な行動はいろいろと危険が伴います。車の運転者も、自転車の運転者も、歩行者も自分の意思をはっきり示すことで、少しでも交通事故が減らせることができるのではないのでしょうか。さらに、「ぬまっちは交通事故に遭わせない」と、思いを強くした交通安全教室でした。

子供たちが自転車を持ち込むことに多大なる御協力をいただきました。ありがとうございました。

